

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑬【地域づくり】 郷土の美しい自然、伝統行事・郷土芸能、温かい人のつながりのある社会、安全なまちを願い、地域づくりにかかわる。	教科(社会)

【題材】

『調べよう 物をつくる仕事』

【対象】

普代小学校 3年生

【実践の概要・詳細】

3年生社会科では「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」を学習する単元がある。普代小学校では、社会科副読本「わたしたちの普代」を活用しながら、漁家の仕事内容や仕事上の苦勞・願ひ、工夫等を自分たちの生活と関連させて子どもたちが理解を深められるように学習を構成している。

学習において子どもたちは、漁港を訪れ働いている方の様子を取材したり、資料を活用して情報収集したりして漁業を中心とした村の生産活動に関心を高めている。

普代村の産業は第一次産業の漁業・水産養殖業が大部分を占めているものの、保護者の職業を見ると漁業に携わっていない家庭も多い。そこで学習を通して、普代村の代表的な産業である「コンブ・ワカメ養殖やサケ漁」は自分たちの生活を支えていることを知るとともに、自分と地域社会との関係についてより深く考える機会をもたせたいと考えた。

今年度、社会科と復興教育を関係づけ、3年生の子どもたちに、社会科の『調べよう 物をつくる仕事』の発展として漁港等に出かけ、「わかめの芯抜き」と「海上遊覧」を体験させることにした。

東日本大震災で壊滅的被害を受けた養殖ワカメも、残った種を育て徐々に震災前に戻ってきたことは、普代の人々にとって大きな喜びである。小学校に入学する前に震災を経験した子どもたちにとって、当時の話を聞くことで復興が進む「ふるさと普代」への思いもより深いものとなることや普代のワカメが商品になっていく過程を体験することで、地域の中心となる産業への関心が深まることも今後期待している。

「海上遊覧」については、船でワカメやコンブが養殖されている場所へ行き、養殖に関する説明を聞くことができた。また、観光地となっている黒埼灯台やアンモ浦を海から眺める等の体験により、自然に恵まれた「ふるさと普代」の良さを実感する機会となった。

このような経験は、総合的な学習の時間の学習内容の一つである『普代の自然を調べよう』にも生かされ、子どもたちの学習が一層充実してきている。



【授業の展開】

【太田名部漁港近くの漁家を訪ねる】ワカメ芯抜き体験

- 東日本大震災により、普代のワカメやコンブのはどのようなになったのか、漁家の話を聞く。
- 震災から約2年後、養殖ワカメの収穫が始まったときの気持ちを聞く。
- ワカメの芯抜き方法を聞き、実際に自分たちも体験する。
  - ・塩蔵ワカメの茎と葉の部分を手で分ける



【太田名部漁港から船に乗る】海上遊覧

- 海から見える普代の名所について船長さんから話を聞く。
  - ・黒埼展望台
  - ・アンモ浦展望台
  - ・自然遊歩道
- 約30分間かけて、海から見える普代の景色を眺めながら海上遊覧を行う。
- 海で働く船長さんの立場から、これからの普代がどうなっていくってほしいかという願いを聞く。

【児童の感想】

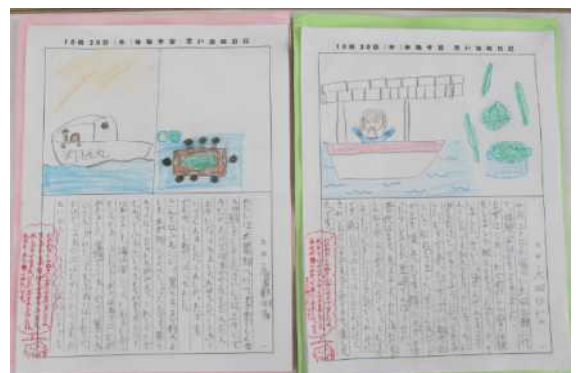
- ・今日、太田名部にワカメのしんぬきに行きました。根のぎざぎざのところをちぎって、根と葉に切れ目を二つ入れます。そこをにぎってぎゅっとしたまま下にひっぱって葉のところを切って、葉は葉、根は根のはこに入れます。たいへんだったけど楽しかったです。
- ・太田名部へ行ってワカメのしんぬき体験をしました。さいしょはむずかしかったけど、コツを覚えてうまくしんをぬくことができました。普代でワカメがたくさんとれるようになってよかったです。
- ・翔光丸という船に乗りました。顔に水がかかったりしました。黒さきてんぼう台や普代浜も見えました。船に乗るのは初めてだったけど、普代のきれいなけしきをみることでできて楽しかったです。
- ・(船に乗って) 海のけしきも山のけしきもきれいでした。しばらくすると150mくらいの滝がみえました。普代に滝があるとは思いませんでした。

【まとめ】

本実践は、自分と地域社会との関係について考えを深めようとする態度を育てるため、子どもたちにとってとても貴重な体験となった。

地域の生産を支え、家庭や給食で食べている食材、また身近な自然を実感できる景観にふれることにより、郷土に目を向け、良さを発見する機会を得ることができた。震災後、地域の産業が復興しつつあることや地域の人々の思いや願いを知ることが普代の未来を担う子どもたちにとって価値のあることである。

3年生の社会は地域に関連した教材が多いので総合や道徳等の教科・領域との関連を生かし、地域と人々のつながりについて感じられるように、子どもたちの体験を重視しながら実践を今後深めていきたい。



【地域の方の感想】

震災後、しばらく収穫できなかったワカメですが、今では子どもたちも芯抜き体験をできるまでに復興してきて良かったです。ワカメやコンブは普代の特産品なので、これからもたくさん食べて元気に過ごしてほしいです。